LG
Life's Good

取扱説明書

ブルーレイ™対応 ブルーレイディスク™/ DVDプレーヤー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。お読みになったあとは
保証書と共に大切に保管してください。

BP350

MFL69708532

http://www.lg.com/jp

Copyright © 2016 - 2017 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

安全にお使いいただくために



注意: 本製品のカバーを開けないでください。お客様ご自身による修理や改造・分解は行わないでください。火災や感電、ケガ、製品故障のおそれがあります。
修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターへご相談ください。



正三角形の中に稲妻形の矢印マークは、感電のおそれがあることを警告するものです。



正三角形の中に「!」のマークは、重要な操作またはお手入れ（修理）に関する注意事項があることを示します。

警告: 著しく温度の高くなる所、ほこりや湿気の多い場所に設置しないでください。火災や感電、故障のおそれがあります。

警告: 本製品が十分冷却できるよう、ラックの通気を確保してください。放熱が妨げられると発熱による火災のおそれがあります。

注意: 通気性の悪い場所への設置や、本製品の開口部をふさぐようなご使用はおやめください。
本体の溝や開口部は、製品内部に熱がこもらないよう設計されています
高所や、不安定な場所、振動のある場所に設置しないでください。転倒や落下のおそれがあります。また本棚、ラックなどに設置する場合は、十分な通気性を確保してください。



注意: 本製品はレーザー装置を使用しています。製品を 正しく使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、いつでも参照できる場所に保管しておいてください。修理の際 は弊社カスタマーセンターまでご連絡ください。レーザー光線照射の危険がありますので、絶対に本体カバーを開けないでください。失明など視力障害のおそれがあります。

警告！レーザー装置
本製品は光学機器です。内部で照射されるレーザー光線を覗きこまないでください。

電源コンセントに関するご注意

警告: コンセントや電源タップ等の定格を超える使い方をしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災に繋がる恐れがあります。
また、絶縁体がひび割れているなど損傷した電源コードは使用しないでください。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントから抜き、弊社カスタマーセンターへご相談ください。
電源コードは以下のような使い方をしないでください、火災やけがの原因になることがあります。ACアダプターの電源プラグの部分は特に取り扱いにご注意ください。

- ドアに挟まる、または踏みつける可能性のある場所への設置
- 湿気が強い、または水がかかる可能性のある場所、ほこりの多い場所への設置
- 曲げたり、ねじったり、締めつけたり故意にコードが損傷する行為

本製品を長期間使用しないとき、お手入れをするときは、電源プラグを抜いてください。

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

乾電池、または電池パックの廃棄は、お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。

電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

注意: 水などの液体が本機およびリモコン内に入らないようにしてください。また、濡れた手などで触らないでください。故障や感電の危険があります。

本機が電源コンセントに接続されているときは、電源スイッチをオフにしても微量に通電しており、本機はスタンバイの状態になっています。

本機の主電源はACアダプターのプラグをコンセントから抜くことで遮断されます。長期間使用しない時は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

注意：製品識別及び定格電圧を含む安全表示については、本機の底面もしくは背面にある銘板ラベルに記載されています。

ACアダプターは、必ず本製品に付属されているものをご使用ください。異なる電圧や極性のACアダプターを使用すると故障の原因になります。付属以外のACアダプターの使用による故障は保証の対象外になります。

本製品を、コピー機など高電圧機器の近くで使用しないでください。機器間の電圧の干渉により、故障のおそれがあります。

著作権に関するご注意

- ブルーレイディスク フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (Advanced Access Content System) で保護されています。AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。
  AACSはバージョンアップされることがあります。本製品の生産以降に追加された制限が適用されたブルーレイコンテンツは、再生に支障が出ることがあります。
- また、ブルーレイディスク フォーマットの著作権保護技術の BD-ROMマークか BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROMマーク、BD+、または本製品に関する詳細については、カスタマーセンターにお問い合わせください。
- ブルーレイやDVDのコンテンツは複製防止のため、暗号化されています。ビデオデッキ等の録画機器に接続すると、映像が乱れることがあります。ビデオデッキ等には接続せず、直接テレビに接続してください。
- 本製品は、米国特許及び他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはRovi Corporationによる認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または用途の限られた視聴のみに制限されています。解析や分解は禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

目次

1 はじめに

2 安全にお使いいただくために
6 はじめに
6 – 本取扱説明書で使用される記号
6 – 再生可能なディスク、および本取扱説明書で使用される記号
7 –「⊘」記号の表示について
7 – リージョンコード(地域コード)
7 – LG AV Remoteで操作する
7 – 付属品
8 リモコン
9 本体前面
9 本体後面

2 接続する

10 ACアダプターの接続
10 テレビへ接続する
11 – SIMPLINKとは?
12 – 解像度の設定
13 アンプとの接続
13 – HDMI 出力とアンプを接続する
14 ホームネットワークに接続する
14 – 無線ネットワークに接続する
14 – 無線ネットワーク設定
17 はじめての設定

3 設定する

18 設定
18 – 設定メニューを操作する
19 – [ネットワーク] メニュー
20 – [表示]メニュー
21 – [言語] メニュー
22 – [オーディオ] メニュー
23 – [ロック] メニュー
25 – [その他] メニュー

4 操作する

26 ホーム メニュー表示
26 – ホームメニューを操作する
26 コンテンツを再生する
26 – ディスクを再生する
27 – ディスク/USB機器のファイルを再生する
28 – Android端末のファイルを再生する
29 一般的な再生
29 – ビデオおよびオーディオコンテンツの基本操作
29 – 写真コンテンツの基本操作
29 – ディスクメニューの使用
30 – レジューム再生
30 – ラストシーンメモリー
31 コンテンツ情報を確認する
31 – ビデオを再生する
31 – コンテンツ情報を画面に表示する
32 – フォトビューの制御
32 – スライドショーのオプション設定
33 さまざまな再生
33 – リピート再生
33 – 区間指定のリピート
33 – タイムサーチ再生
34 – 字幕言語を選択する
34 – 音声を切り換える
34 – 別アングルの映像を見る
35 – テレビのアスペクト比を変更する
35 – 字幕コードページを選択する
35 – ピクチャーモードを変更する
36 – コンテンツ情報を見る
36 – コンテンツリストの表示を変更する
37 – 字幕ファイルを選択する
37 – 音楽を聴きながらスライドショーを楽しむ
38 – BD-Live™ を楽しむ
39 オーディオCDの録音
39 プレミアムコンテンツを利用する
40 LG Music Flowと接続する

5 困ったとき

41 故障かな?と思ったら
41 – 一般
42 – ネットワーク
43 – 画像
43 – ソフトウェアのアップデートについて
43 – オープンソースソフトウェア通知情報

6 その他

44 付属のリモコンでテレビを操作する
44 – リモコンにお使いのテレビを設定する
45 ネットワークソフトウェアの更新
45 – 更新の通知
45 – ソフトウェアの更新
47 追加情報
47 – ファイルの要件
48 – 動画/音声ファイルの再生について
48 – ご注意
49 – AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)
49 – 必要なシステム環境
50 オーディオ出力の仕様
51 エリアコード一覧
52 言語コード一覧
53 商標およびライセンス
55 仕様
56 お手入れについて
56 – 使用上のご注意
56 – ディスクについてのご注意
57 ネットワーク サービスに関する重要な情報

ご利用いただけるサービスの内容や画面、提供時期は、機種やご使用の環境、またはサービス提供者の方針により、予告なく改定、追加、変更または廃止される場合があります。

はじめに

本取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	記号	説明
ヒント		特定の注意と操作方法を示します。
注意		身体への危害や物的損害を引き起こす可能性が想定されるを内容を表記しています。

再生可能なディスク、および本取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	ロゴ	記号	説明
BD-ROM BD-R BD-RE		BD	• 市販のブルーレイディスクなど一般的なBDMV形式の動画コンテンツ • BDAV形式で録画されたBD-R/REディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたBD-R*1/REディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-ROM DVD-R DVD-RW DVD+R DVD+RW (8 cm, 12 cm)		DVD	• 市販のDVDディスクなどDVD-Video形式の一般的な動画コンテンツ • ムービーモードで録画して、ファイナライズされたディスク • ２層式再生対応 • AVCREC フォーマットで記録された DVD-R/DVD-RW ディスク
		AVCHD	AVCHD 規格でファイナライズされたディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• ファイル形式の動画、音楽、写真等が記録されたDVD±R/RWディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-RW (VR) (8 cm, 12 cm)		DVD	VRモードで録画して、ファイナライズされたディスク
Audio CD (8 cm, 12 cm)		ACD	オーディオCD
CD-R/RW (8 cm, 12 cm)		MOVIE MUSIC PHOTO	• ファイル形式の動画、音楽、写真等が記録されたCD-R/RWディスク、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式

* BD-RはLTH(Low to High)タイプにも対応しています。

ヒント

- 記録装置の条件やCD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスクがもつ制限に応じて、ディスクが再生できないことがあります。
- 破損や汚れがついたディスク、または本機のレンズに汚れや結露がある場合、パソコンやDVDまたはCDレコーダーを使用して記録された記録型のディスクが再生できない場合があります。
- パソコンを使用して作成したディスクは、互換性のある形式で作成した場合でも、本機で再生できないことがあります。詳細はライティング(記録)ソフトの仕様をご確認ください。
- 低品質の記録ディスクや保存状態が悪い記録ディスクを使用すると再生時に問題が発生する場合があります。
- 市販またはレンタルされているDVDは、DVDビデオ形式のコンテンツです。ファイル形式のコンテンツは多様なフォーマット形式、拡張子(avi、wmv、mp3、jpg他)があり、それぞれ再生するためのコーデックがあります。本機は一定の一般的なコーデックの再生に対応してますが、すべての再生には対応してしていません。対応していないコーデックのファイルは再生できません。
- インターネットからのダウンロードコンテンツは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどに送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いませんので、自己責任のもとでご利用ください。
- パソコン(Windows Vista以降)で追記型記録ディスク(CD-RW/DVD-RW/BD-RE)を使用するときは、「マスタ形式」を選択してください。「ライブファイルシステム形式」でフォーマットしたディスクは、本機で再生できません。

「⊘」 記号の表示について

リモコン等で操作を行ったときに、「⊘」が表示されることがあります。このマークは、コンテンツの操作ができないときに表示されます。

リージョンコード(地域コード)

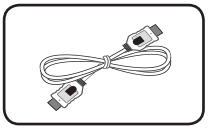
市販されているブルーレイ、DVDビデオにはリージョン(地域)コードが設定されています。

世界の地域ごとにリージョンコードは異なり、本機で設定されたリージョンコードと異なる場合、コンテンツを再生することができません。

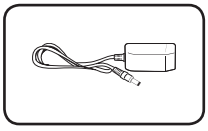
LG AV Remoteで操作する

お使いのiOSまたはAndroid機器に「LG AV Remote」アプリをインストールして、本機を操作することができます。アプリを利用するには、本機とスマートデバイスが同じ無線ネットワークに接続されている必要があります。「LG AV Remote」は、「Apple iTunes」または「Google Android Market (Playストア)」で無料でダウンロードいただけます。

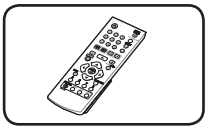
付属品



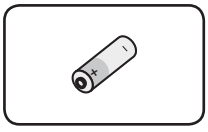
HDMIケーブル



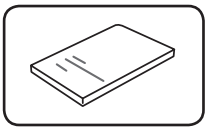
ACアダプター
(WA-12M12FU)



リモコン (1個)

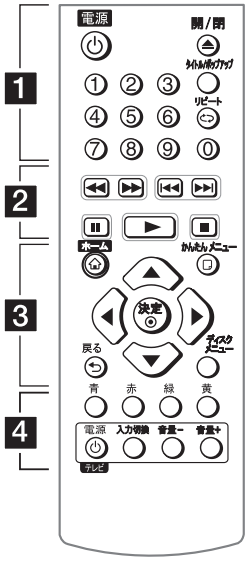


乾電池 (単4形 1本)

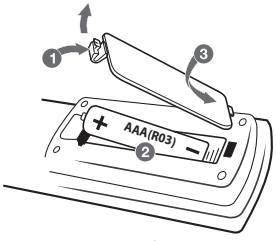


取扱説明書
(本書) (1部)

リモコン



電池を入れる



リモコン裏面のバッテリーカバーを外し、単4形電池(R03/AAA)を正しい⊕と⊖向きに入れてください。

1

⏻ (電源): 本機の電源をオン/オフします。

⏏ (開/閉): ディスクトレイの開/閉をします。

数字: メニューの項目番号を選択します。

タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

リピート(🔁): 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

2

◀◀ / ▶▶ (スキャン): 早送り/早戻しをします。

⏮ / ⏭ (スキップ): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

⏸ (一時停止): 再生を一時停止します。

▶ (再生): 再生を開始します。

■ (停止): 再生を停止します。

3

ホーム (⌂): [ホームメニュー]を表示/終了します。

かんたんメニュー (☐): 再生する映像を表示/終了します。

方向ボタン:メニューの項目を選択します。

決定 (◉): 選択したメニューを決定します。

戻る (⮌): メニューの終了または前の画面に戻ります。

ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

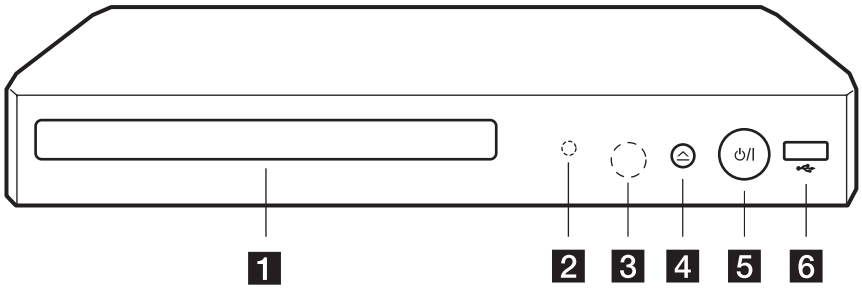
4

カラー (青, 赤, 緑, 黄) ボタン: BD-ROMをナビゲートするのに使用します。ファイル形式の[動画]、[音楽]、[写真]でも使用できます。

テレビ操作ボタン:

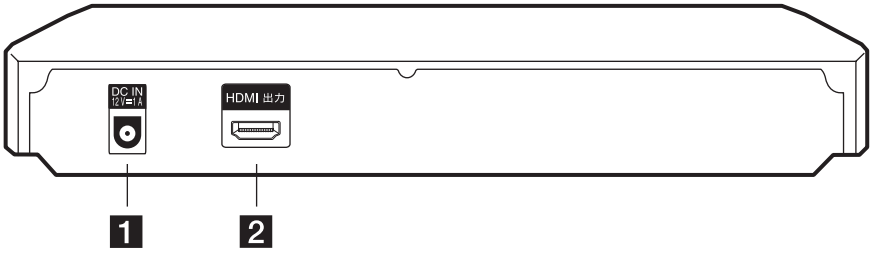
このリモコンで簡易的にテレビを操作できます。設定方法等は44ページをご参照ください。

本体前面



1 ディスクトレイ
2 電源インジケーター
3 リモコン受光部
4 ⏏ ディスクトレイの開閉ボタン
5 ⏻/❙ (電源)
6 USB 端子

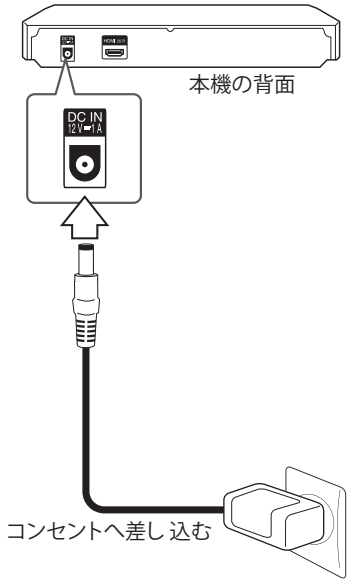
本体後面



1 ACアダプター接続端子
2 HDMI 出力端子

ACアダプターの接続

付属のACアダプターで本機を電源に接続します。

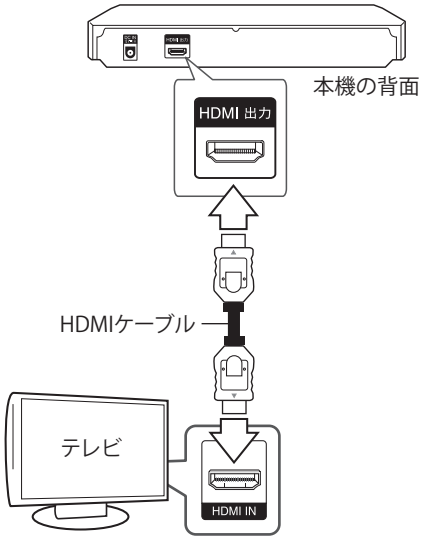


⚠ 注意

本製品付属のACアダプター以外を使用しないでください。他の機器などのACアダプターは絶対に使用しないでください。異なる電圧や極性のACアダプターを使用すると故障の原因になります。付属以外のACアダプターの使用による故障は保証の対象外になります。

テレビへ接続する

テレビやモニターのHDMI端子に接続します。付属のHDMIケーブル(Aタイプ/High Speed HDMIケーブル)で本機とTVやモニターを接続します。



テレビやモニターの表示画面を接続したHDMI入力端子に切り換えます(入力の切り替えはテレビ、モニターの取扱説明書をご参照ください)。

ヒント

ご使用されているテレビやモニターと本機を正しく接続するには、テレビ、モニターの取扱説明書と本書を合わせてをご確認ください。

DVI機器への接続の際のご注意

- DVI端子の機器に接続する場合は、次のことをご確認ください。
  - 最初に、本機とDVI接続 機器の電源を切ります。まず、接続機器の電源を入れ、30秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続機器の設定画面から、映像入力が正しく本機に設定されていることを確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応している必要があります。
  - DVI端子は音声データの転送に対応していません。DVI接続の場合は音声を出力することができないのでご注意ください。
- HDCPに対応するすべてのHDMI/DVI機器に対して、動作を保証するものではありません。
  - HDCPに対応しない機器では、画像が正しく表示されない場合があります。

ヒント

- 接続されたHDMI対応機器が本機の音声出力に対応しない場合、HDMI対応機器からの音声は出力できません。
- HDMI接続を使用するときは、HDMI出力の解像度を変更することができます。(12ページの「解像度の設定」をご参照ください)。
- [設定]メニューの[HDMIカラー設定]オプションを使ってHDMI 出力端子のビデオ出力タイプを選択します。(21ページ)
- 機器の接続後に画面の解像度を変更した場合、画面が正常に表示されないことがあります。このような場合は、本機の電源を一度入れ直してください。
- HDCP での HDMI 接続が確認できない場合、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI 接続の確認をするか、HDMI ケーブルを外してください。
- 最新 High Speed HDMI ケーブル(長さ4.5m以内のもの)の使用をおすすめします。

SIMPLINKとは?

SIMPLINKに対応するLG製のテレビをHDMIケーブルで本機に接続すると、テレビのリモコンで機器を操作することができます。

テレビのリモコンでの操作が可能な本機の機能は、再生、一時停止、スキップ、停止、電源のオン/オフなどです。

SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

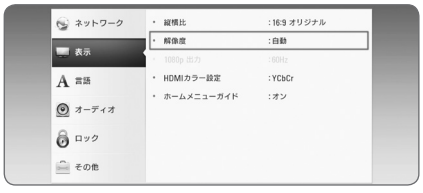
ヒント

ディスクの種類や再生状況に応じて、いくつかのSIMPLINK機能が動作しないことがあります。

解像度の設定

本機では、HDMI接続時に出力する映像の解像度を変更することができます。
[設定]メニューを使って解像度を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。
2. ◀/▶ボタンで、[設定]を選択して決定ボタン(⊙)を押します。[設定]メニューが表示されます。
3. ▲/▼ボタンで[表示]を選択して、決定(⊙)を押します。
4. ▲/▼ボタンで[解像度]を選択して、決定(⊙) を押して詳細項目を表示します。



5. ▲/▼ボタンで、表示したい解像度を選択してから、決定(⊙)を押すと設定項目が表示されます。



ヒント

- 本機の解像度を設定していて、接続したテレビやモニターがその解像度に満たない場合、画面が表示できないことがあります。次の操作を行うことで本機の出力解像度を自動的に480p(720×480)に設定を変更することができます。480pで表示された状態から左記の手順で、適した解像度を選択してください。
  1. 本機の⏏ボタンを押してディスクトレイを開きます。
  2. ディスクトレイが開いた状態で、リモコンの停止ボタン(■)を5秒間押し続けます。
- 本機の解像度を手動で設定していて、接続したテレビやモニターがその解像度に満たない場合、解像度は自動的に[自動]に切り替わります。
- テレビが本機の解像度に対応していない場合は、画面上にお知らせメッセージが表示されます。この場合、解像度の設定を変更してから、20秒ほどお待ちください。解像度は自動的に以前の解像度に戻ります。
- 1080pビデオ出力のフレームレートは、ご使用のディスプレイ機器の性能またはコンテンツ本来のフレームレートに基づいて、自動的に24 Hzまたは60 Hzのいずれかに設定されます。

アンプとの接続

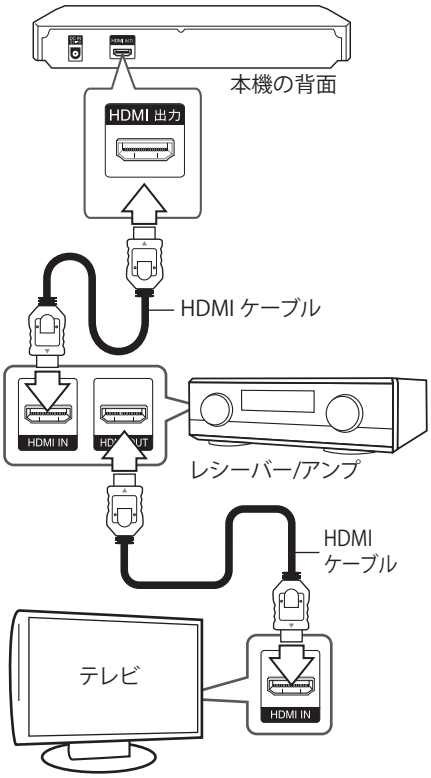
デジタルマルチチャンネルサウンドについて

デジタルマルチチャンネルによる接続で、さらに高品質のサウンドをお楽しみいただけます。この接続には、次のうちいずれかのオーディオフォーマットに対応するマルティチャンネルオーディオアンプまたはAVレシーバーが必要です。

- PCM ステレオ
- PCM マルチチャンネル
- ドルビーデジタル
- ドルビーデジタルプラス
- ドルビーTrueHD
- DTSまたはDTS-HD

HDMI 出力とアンプを接続する

HDMI端子の出入力を搭載しているレシーバーやアンプに接続できます。下図のように本機とレシーバー/アンプのHDMI入力端子を接続して、レシーバー/アンプのHDMI出力端子とテレビを接続します。(アンプとテレビを接続するHDMIケーブルは別売です。)



ケーブルの接続を完了してから、本機のデジタル音声出力の設定を行います。(22ページ)

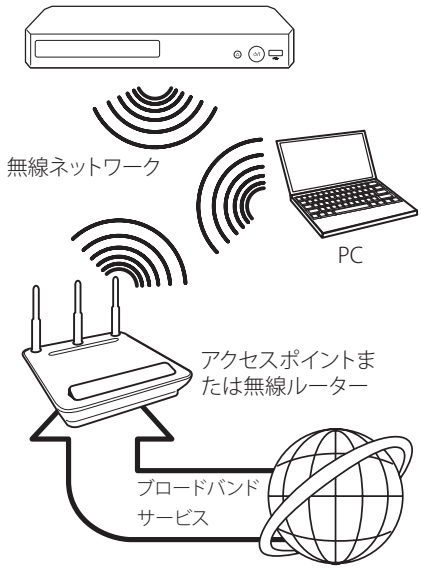
ホームネットワークに接続する

本製品は、無線モジュールを搭載しています。無線でネットワークに接続することができます。ネットワークに接続すると、ソフトウェアの更新やBD-Liveインタラクティブ、プレミアムコンテンツなど、様々なサービスをご利用いただけます。

無線ネットワークに接続する

アクセスポイントまたは無線ルーターに本機を接続します。

ネットワーク構成と接続方法は、使用中の機器やネットワーク環境によって異なる場合があります。



詳細なネットワークの設定は、アクセスポイントまたは無線ルーター付属の取扱説明書をご覧ください。

他の電子機器によって、接続、通信が影響を受けることがあります。

無線ネットワーク設定

次の手順で、[設定]メニューから、無線ネットワークの設定を行います。

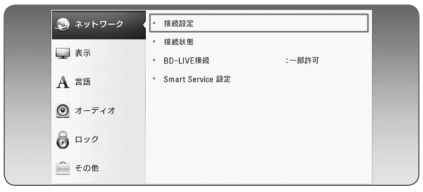
ご利用のルーター、ハブなどの設定には、PCが必要となる場合があります。ルーターの接続、設定方法についてご不明な場合は、ルーターをお買い上げの販売店へご相談ください。

準備事項

無線ネットワークを設定する前に、次を事前に確認しておくと便利です。

- 無線ホームネットワークをブロードバンドインターネットに接続します。
- アクセスポイントまたは無線LANルーターを設定します。
- ネットワークのSSIDとセキュリティコードを事前に確認します。

1. [設定]メニューから[接続設定] オプションを選択して、決定(⊙)を押してください。



2. ネットワーク設定の準備事項を読んでから、[スタート]ボタンを選択して、 決定(⊙)を押します。



3. ▲/▼ボタンで接続する無線ネットワークのSSIDを選択してから決定(⊙)を押してください。



アクセスポイントにセキュリティキーやSSIDが設定されている場合は、事前にご確認のうえ、入力してください。

ヒント

無線LANルーターやアクセスポイントのセキュリティキーは、誤って入力しないようご注意ください。



ヒント

- WFPセキュリティモードは、一般的にアクセスポイント設定のための4つのキーを持っています。使用中のアクセスポイントまたはワイヤレスルーターがWFPセキュリティを使う場合は、「No.1」のセキュリティコードを入力してください。
- アクセスポイントとは、無線でネットワークに接続することができる機器です。

4. ▲/▼/◀/▶ で [自動]または[固定]を選択し、IPアドレスの取得方法を設定します。通常は、［自動］ を選択して IP アドレスを自動的に設定します。

ヒント

ご使用のルーターまたはネットワーク環境がDHCP機能に対応しておらず、IPアドレスを手動で設定する場合は、[固定]を選択してから、▲/▼/◀/▶と数字ボタンを使って[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]と[DNSサーバー]を設定します。

5. [次へ]を選択してから、決定(⊙)を押してネットワーク設定を行います。



ネットワーク接続状態が画面に表示され、設定を完了します。

6. [OK]を選択した後、決定(⊙)を押してネットワーク設定を完了してください。

高度な設定

手動でネットワーク設定を行う場合は、[ネットワーク設定]メニューで ▲/▼ を使って[高度な設定]を選択してから、決定(⊙)を押します。

1. 次の設定を行う際には、接続するアクセスポイントまたは無線LANルーター機器側の取扱説明書も合わせてご参照ください。



[APリスト] - 範囲内のすべての利用可能なアクセスポイント、または無線ルーターをスキャンし、そのリストを表示します。

[ネットワーク名（SSID）] - アクセスポイントはネットワーク名（SSID）を表示しない場合があります。お使いのPCでアクセスポイントの設定を確認し、SSIDを表示するように設定するか、または[ネットワーク名（SSID）]に手動でネットワーク名を入力してください。

[PBC] - PBC（プッシュボタン設定）機能に対応する無線ルーター、またはアクセスポイントで接続する場合は、このオプションを選択し120以下の数字でアクセスポイントのプッシュボタンを押してください。この接続では、ネットワーク名（SSID）やセキュリティコードを入力する必要はありません。

[PIN] - WPS（Wi-Fi保護設定）機能を利用したPINコードの設定機能に対応するアクセスポイントで接続する場合は、このオプションを選択し、画面上に表示されるコード番号をお控えください。その後、接続するアクセスポイント側の設定メニューでPIN番号を入力します。
アクセスポイント側の取扱説明書などもご参照ください。

2. 必要な設定情報を入力したら、画面のご案内にしたがって、設定を完了します。

ヒント

PBCとPINネットワーク接続を使用するには、アクセスポイントのセキュリティモードをOPEN、またはAESに設定する必要があります。

ネットワーク接続に関する注意事項

- ルーターやモデムのリセットで、問題を解決できる場合があります。本機をホームネットワークに接続した後に、ホームネットワークのルーターまたはケーブルモデムの電源を切り、電源ケーブルを外してください。それから再度、電源ケーブルを差し、電源を入れ直してください。
- インターネットサービスプロバイダー(ISP)によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いのISP にお問い合わせください。
- 弊社は、ご利用のブロードバンド回線またはその他接続機器のエラーや故障による本機やネットワーク接続の性能不良についての一切の責任を負いません。
- インターネット接続機能からご利用できるBD-ROMディスク機能のサポートは弊社では行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任を負いかねます。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このような症状が発生した場合は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- ネットワークが正しく設置されている場合でも、インターネットの利用環境やコンテンツプロバイダーの都合などにより正常に動作しない場合があります。
- ご契約されたインターネットサービスプロバイダー(ISP)で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- ご利用のインターネット通信接続費、ISPより請求される手数料はお客様のご負担となります。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSLサービスをご利用になるにはDSLモデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用になるにはケーブルモデムが必要です。ご利用のISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります。(ご利用のISP の契約が1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります)
- ルーターの使用は許可されていないか、または、その使用量が、ISPのポリシーと制限に応じて制限される場合があります。詳細については、ISPに直接お問い合わせください。
- 無線ネットワークは2.4 GHz帯の無線周波数で作動します。無線電話、Bluetooth機器、電子レンジなどの他の家庭用機器も同じ周波数帯を使用し、無線ネットワークに干渉し影響を与える場合があります。
- 使用していないネットワーク機器は、電源を切っておいてください。不要なネットワークトラフィックが発生する場合があります。
- データ転送速度を向上させるために、本機をアクセスポイントに近い場所に設置することをお勧めします。
- アクセスポイントまたは無線ルーターを床から0.45 mの上に置くと電波状況が改善される場合があります。
- 無線ネットワークのデータ通信速度は理想上の数値であり、アクセスポイントのタイプ、プレーヤーとアクセスポイントとの距離、設置場所などの要因により影響されます。
- アクセスポイント、または無線ルーターをインフラストラクチャモードに設定します。アドホックモードはサポートされません。

はじめての設定

初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。初期設定画面ではメニューを表示する言語を設定します。

1. ⏻ (電源)を押します。
   初期設定画面が表示されます。
2. ▲/▼/◄/►ボタンでメニュー画面の表示言語を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。



3. プレミアムサービスとソフトウェアの更新を行う場合は、[利用規約]をよくお読みいただき、内容に同意の上で、[同意する]をチェックする必要があります。
   ネットワーク設定の準備事項を読んで準備した後、[スタート]がハイライトされているときに決定(⊙)を押します。



4. 利用可能なネットワークがすべて画面に表示されます。▲/▼を使って[有線ネットワーク]、またはご希望の無線ネットワークSSIDを選択してから、決定(⊙)を押します。



   アクセスポイントにセキュリティコードが設定されている場合、セキュリティコードを入力する必要があります。

5. ▲/▼/◄/►を使って[自動]と[固定]のどちらかのIPモードを選択してください。通常は、[自動]を選択してIPアドレスを自動的に設定します。



6. [次]を選択してから、決定(⊙)を押してネットワーク設定を適用します。ネットワーク接続状態が画面に表示されます。ネットワーク設定の詳細については、
   14ページをご参照ください。
7. 設定内容を確認します。



   [終了]ボタンを押して、初期設定を終了します。設定を変更したい場合は、▲/▼/◄/►を使って⮌を選択し、決定(⊙)を押します。

6. オンラインコンテンツを手軽く楽しむことができる「LG AV Remote」への接続画面が表示されます。決定(⊙)ボタンを押して初期設定を終了してください。



設定

設定メニューを操作する

[設定]メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。



2. ◀/▶ ボタンで [設定]を選択し、決定ボタン (⦿)を押すと。[設定]メニューが表示されます。



3. ▲/▼ ボタンで、画面左側の設定項目を選択して、決定 ボタン (⦿)または▶ボタンを押すと、設定項目に移動します。



4. ▲/▼ ボタンを操作して詳細の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押すと設定の変更メニューが表示されます。



5. ▲/▼ ボタンを操作して、設定する項目を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD-Live、そしてオンラインコンテンツサービスなどの機能を利用するのに必要な設定です。

接続設定

ホームネットワーク環境に本製品を接続する準備ができたら、14ページの「ホームネットワークに接続する」を参照してネットワークの設定を行ってください。

接続状態

本機のネットワーク接続状態を確認する場合は、[接続状態] 項目を選択してから 決定(⊙) を押します。

BD-LIVE接続

BD-Live 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可]

所有者証明書のある BD-Live コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能の利用は制限されます。

[禁止]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを禁止します。

Smart Service 設定

[国の設定]

設定した地域に合わせたオンラインコンテンツサービスを表示します。

[初期化]

地域により、[初期化]機能はご利用になれない場合があります。

[表示]メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるように映像の両側が切り落とされて表示されます。

[16:9オリジナル]

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの4:3 アスペクト比で表示されます。

[16:9 フル]

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向(左右)に引き伸ばされます。

ヒント

解像度が720p以上に設定されている際は、[4:3レターボックス]と、[4:3パンスキャン]は選択できません。

解像度

HDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、12ページをご参照ください。

[自動]

HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。

[480p]

480 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[720p]

720 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[1080i]

1080 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

[1080p]

1080 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

1080p 出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080p/24 Hz）をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

ヒント

- [24 Hz]に設定した場合、映像の切り替えの際に、画像の乱れが発生することがあります。映像の乱れが気になる場合は、[60 Hz]に変更してください。
- ご使用のテレビなどが1080p/24 Hzの出力に対応していなくても、本機で[1080 ディスプレイモード]が[24 Hz]に設定されている場合は、出力する1080p/24 Hz 映像コンテンツのフレーム周波数は変わりません。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr]

HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]

DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

ホームメニューガイド

この機能を使用すると、ホームメニューのヘルプを表示したり、削除することができます。ガイドを表示する場合はこのオプションを[オン]に設定します。

[言語] メニュー

表示メニュー言語

メニューの表示言語を選択します。

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

ディスクのメニュー、音声、字幕の基本言語を選択します。

[オリジナル]

ディスクが収録された時に使用された元の言語を参照します。

[その他]

メニューに表示されている以外の言語を選択したいときは、[その他]を選択します。

52 ページ に記載された言語コードから表示したい言語の4 桁数字を数字ボタンで入力し、決定(◉)ボタンを押してください。

[オフ] (ディスク字幕言語のみ)

字幕を消します。

ヒント

ディスクに応じて、言語設定が作動しない場合があります。

また、ディスクに収録されていない言語、字幕は表示できません。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

ヒント

多くの要因が、オーディオ出力のタイプに影響を与えるので、詳細については、50 ページの "オーディオ出力の仕様"をご参照ください。

デジタル出力

[自動]

LPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTSとDTS-HDデコーダー機器と本機を接続するときに選択します。

[PCM]

本機をデジタルデコーダー対応と本機を接続するときに選択します。

[DTS再エンコード]

DTSデコーダー対応機器と本機を接続するときに選択します。

ヒント

- [デジタル出力]の設定が[自動]に設定されている時は、音声がビットストリームとして出力されることがあります。ビットストリーム情報がEDID付きHDMIデバイスより検出されない場合は、音声はPCMとして出力されます。
- [デジタル出力]のオプションが[DTS再エンコード]に設定されていると、DTS再エンコード音声はセカンダリーオーディオが含まれるBD-ROMディスク用に出力され、オリジナルのオーディオはその他のディスク用（例えば[自動]など）で出力されます。

サンプリング周波数（デジタル音声出力）

[48 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、機器がデコードできるように、すべての192 kHz、96 kHz の周波数を48 kHz に自動変換します。

[96 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが192 kHz周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、機器がデコードできるように、すべての192 kHz周波数を96 kHzに自動変換します。

[192 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

お持ちのAV レシーバー、またはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様かをご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

この機能で、音量を下げても動画の音質を損うことなく視聴できます。

[自動]

ドルビーTrueHDオーディオ出力のダイナミックレンジが自動的に指定されます。また、ドルビーデジタルとドルビーデジタルプラスのダイナミックレンジは、[オン]モードの場合と同様に選択されます。

[オン]

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、またはドルビーTrueHDのダイナミックレンジが圧縮されます。

[オフ]

この機能がオフになります。

ヒント

DRCの設定は、ディスクが挿入されていないか、または装置が完全に停止している時のみ変更することができます。

[ロック] メニュー

[ロック]設定は、ブルーレイディスクおよびDVDの再生に対して適用されます。

最初に4桁のパスワードを設定して、[ロック]の内容を変更します。メニューの[パスワード]で同一のパスワードを2回入力して決定ボタン(⊙)を押すとパスワードが設定されます。

パスワード

新しいパスワードを作成します。

[なし]

4 桁のパスワードを 2 回入力して, 決定ボタン(⊙)を押して 新しいパスワードを設定します。

[変更]

設定されているパスワードを入力して決定ボタン(⊙)を押します。4 桁のパスワードを 2回入力して、決定ボタン(⊙) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次の操作でパスワードを解除することができます。

1. 本機のディスク取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目にカーソルを合わせます。([パスワード]設定のメニューには入らず、[パスワード]上にカーソルを合わせた状態にします。)
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

ヒント

決定(⊙)を押す前に間違えた場合は、◀を押して再度パスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が設定されているわけではありません)。

[視聴制限 1-8]

視聴制限(1)はコンテンツに設定された制限がほぼ適用され、制限(8)はほぼ無制限になります。

[ロック解除]

[ロック解除]を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

Blu-ray ディスク視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255]

すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254]

BD-ROM に記録された年齢制限に従って、設定年齢以上のBD-ROM の再生を禁止します。

ヒント

上記の設定はディスクのコンテンツには年齢制限が設定されているものに対して適用されます。

エリアコード

51ページのリストに合わせて、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準のエリアコードを入力してください。

[その他] メニュー

クイックスタート

この機能を[オン]にすると、本機の電源をオフにしたときに電源の待機状態を維持します。次回に本機の電源を入れた際の起動時間を短くすることができます。

ヒント

- 本機の電源ケーブルを接続し直したり、停電や初期化などのため本機の電源が再起動される場合は、クイックスタートは行われません。
- [クイックスタート]機能をオンにする場合、常に電源の待機状態を維持するため、消費電力量が増えることがあります。あらかじめご留意ください。

オートパワーオフ

スクリーンセーバーは、停止モードで約 5 分後に表示されます。オートパワーオフを「オン」にすると、スクリーンセーバーが表示された約 20分後に自動的に電源が切れます。オートパワーオフをオフにすると、次の操作を始めるまでスクリーンセーバーが表示され続けます。

初期化

[初期設定]

本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[Blu-ray ストレージ消去]

USB機器で接続されたブルーレイコンテンツを消去します。

ヒント

[初期設定]で工場出荷状態にしたときは、初期設定で言語選択(17ページ)の設定を行う必要があります。

ソフトウェア

[情報]

本機で使用されているソフトウェアのバージョンが表示されます。

[OSS Notice]

LGE Open Source Software Noticeが表示され、ソフトウェアの詳細な情報が記載されています。(英語)

[更新]

本機をネットワークに接続しておくことで、更新できるソフトウェアがあった場合、自動的にアップデートを行うことができます。(45ページ)

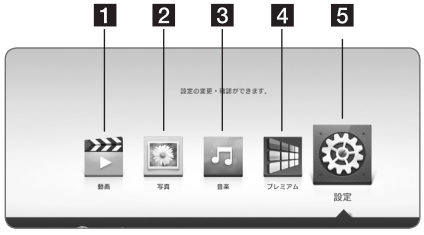
利用規約

プレミアムサービスとソフトウェアの更新を行う場合は、[Blu-ray Disc™ プレーヤーの個人情報保護方針]をよくお読みいただき、内容に同意の上で、[同意する]をチェックする必要があります。

ホーム メニュー表示

ホームメニューを操作する

ホームボタン (⌂)を押すと、ホーム メニューが表示されます。◀ / ▶ ボタンでメニューを選択して、決定ボタン(⊙)を押します。



1	**[動画]** - 動画コンテンツを再生します。
2	**[写真]** - 写真コンテンツを再生します。
3	**[音楽]** - 音楽コンテンツを再生します。
4	**[プレミアム]** - プレミアムホームスクリーンを表示します。(39ページ)
5	**[設定]** - 各種システムの設定を行います。

コンテンツを再生する

ディスクを再生する

BD **DVD** **ACD** **AVCHD**

1. 本機またはリモコンの開閉ボタン ⏏を押して、ディスクをディスクトレイに置きます。
2. ⏏を押してディスクトレイを閉めます。

   通常はBD-ROM、DVD-ROM、オーディオCDは自動的に再生が開始されます。自動的に再生されないコンテンツはホームボタン(⌂)を押します。
3. ◀ / ▶ボタンで [動画]、[写真]、[音楽] を選択して、決定ボタン(⊙)を押します。

ヒント

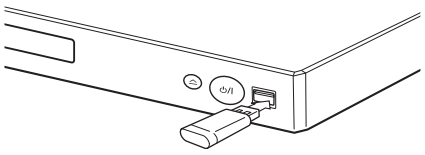
- 本機で対応しているさまざまな再生機能は、必ずしも全てのファイルやメディアで利用できるものではありません。あらゆる要因によってご使用いただけない機能もあります。
- ブルーレイタイトルによっては、コンテンツ製作者が提供する追加のコンテンツをダウンロードするために、USBデバイスなどの接続が必要な場合があります。
- ファイナライズされていないVRフォーマットのDVDディスクは、本機では再生できない場合があります。
- DVD-VRディスクの種類によっては、CPRM形式で記録されたデータで作られているものがあります。本機はCPRM形式のディスクに対応していますが、全ての製品に対して動作を保証するものではありません。

ディスク/USB機器のファイルを再生する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

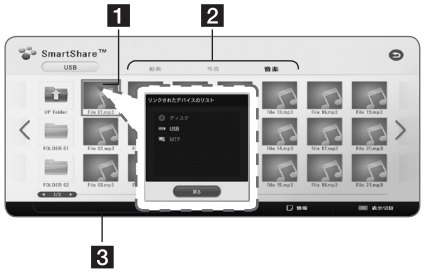
このプレーヤーは、ディスクまたはUSB機器に収録されたビデオ、音声、写真ファイルを再生することが出来ます。

1. データディスクをディスクトレイに載せて挿入するか、USB機器を接続します。



ホーム メニュー上で音声ファイルが収録されたUSB機器を接続すると、自動的に再生されます。 USBストレージデバイスに様々な種類のファイルが入っている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。 ファイルの読み込みは、コンテンツの数によって数分かかることがあります。[取り消し]が選択されている間に決定ボタン(⊙)を押すと、読み込みを停止します。

2. ホーム (⌂)を押します。
3. ◄/►で[動画]、[写真]、[音楽]いずれか、再生したいコンテンツの種類を選択して、▼ボタンを押します。
4. DiscまたはUSBを選び、決定(⊙)を押します。



1	接続されているデバイスがすべて表示されます。
2	ビデオ、写真、音声コンテンツが表示されます。
3	接続されているデバイスにあるファイルやフォルダが表示されます。

5. ▲/▼/◄/►で再生したいファイルを選択して、再生ボタン(►)または決定ボタン(⊙)を押してファイルを再生します。

USB機器について

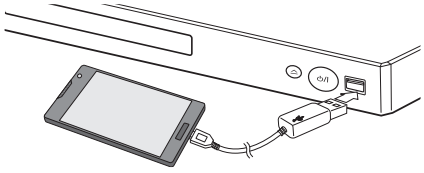
- 本機はFAT32またはNTFS形式でフォーマットされたUSB機器(メモリやハードディスク)に対応しています。ただし、ブルーレイコンテンツに関しては、FAT32形式にのみ対応しています。ブルーレイコンテンツを楽しむ場合は、FAT32またはNTFS形式のいずれかにフォーマットされたUSB フラッシュメモリ/外付けHDDドライブを使用して下さい。
- 本機はUSB接続の機器に対して4つのパーティションまで対応しています。
- 操作中（再生等）はUSB機器を抜かないで下さい。
- パソコンに接続した時にプログラム(デバイスドライバー等)のインストールが必要なUSB機器には対応していません。
- USB1.1または2.0に対応したUSB機器を使用できます。
- ビデオ、音声、写真ファイルを再生することができます。各種ファイルの再生に関する詳細については、該当するページを参照してください。
- データの損失を防止するために、定期的にUSB機器のバックアップをお勧めします。
- USB用の延長コード、USBハブ、USBマルチリーダーを使用すると、USB機器が認識されないことがあります。
- すべてのUSB機器の再生は保証していません。機器によっては再生ができない場合があります。
- 一部のデジタルカメラや携帯電話には対応していません。
- 本装置のUSBポートはパソコンに接続することはできません。本装置を記憶装置として利用することはできません。

Android端末のファイルを再生する

MOVIE MUSIC PHOTO

このプレーヤーは、Androidデバイスに含まれ端末上のビデオ、音声、写真ファイルを再生することが出来ます。

1. Android端末をUSBケーブル(別売)で本機に接続します。 Android上で、MTP(メディア転送プロトコル)の設定をオンにしてください。



2. ホーム (⌂)を押します。
3. ◄/►を使って、[動画]、[写真]、[音楽]を選び、▼を押します。
4. ◄/►を使って[MTP]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。



Android端末内に保存されているコンテンツの数によっては、ファイルの読み込みが数分かかる場合があります。

5. ▲/▼/◄/►で再生したいファイルを選択て、再生ボタン(►)または決定ボタン(⊙)を押してファイルを再生します。



Android端末への接続に関して

- 本装置は、MTP（メディア転送プロトコル）Android（4.0以降を推奨）端末に対応しています。
- 操作中（再生等）にAndroid端末を抜かないで下さい。
- ビデオ、音声、写真ファイルが再生できます。各種ファイルの再生に関する詳細については、該当するページを参照してください。
- データの損失を防止するために、定期的にAndroid端末のバックアップをお勧めします。
- USB用の延長コード、USBのハブ、USBマルチリーダーを使用すると、Android端末が正常に動作しないことがあります。
- すべてのAndroid端末の再生は保証していません。端末によっては再生ができない場合があります。
- Android端末によっては音楽、写真、映画、字幕ファイルなどが正常に動作しないことがあります。

一般的な再生

ビデオおよびオーディオコンテンツの基本操作

- **再生を停止するには**

  再生中に 停止ボタン(■)を押します。

- **再生を一時停止するには**

  再生中に 一時停止ボタン(❚❚)を押します。
  再生ボタン(►)を押すと、再生に戻ります(レジューム)。

- **フレームバイフレームを再生するには（ビデオ）**

  動画の再生中に 一時停止ボタン(❚❚)を押します。
  一時停止ボタン(❚❚)を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

- **早送り/早戻しをするには**

  再生中に 早戻しボタン(◄◄)を押すと早戻し、早送りボタン(►►)早送り再生します。

  ◄◄ または ►► を繰り返し押すと、早戻し/早送り再生のスピードを変えることができます。

- **スローモーションで再生するには**

  再生の一時停止中に、►► を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

- **次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップするには**

  再生中に I◄◄ または ►►I を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

  I◄◄ を素早く2回押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

写真コンテンツの基本操作

- **スライド ショーを表示するには**

  スライド ショーを開始するには、再生ボタン(►)を押します。

- **スライド ショーを停止するには**

  スライド ショーの途中で 停止ボタン(■)を押します。

- **スライド ショーを一時停止するには**

  スライド ショーの途中で 一時停止ボタン(❚❚)を押します。スライド ショーを再開するには、再生ボタン(►)を押します。

- **次/前の写真へスキップするには**

  全画面で写真を表示しているときに、◄ または► を押し て、前または次の写真に移動します。

ディスクメニューの使用

BD **DVD** **AVCHD**

- **ディスクメニューを表示するには**

  ディスクの仕様により、読み込みの直後にメニュー画面が最初に表示されることがあります。再生中にディスクメニューを表示するには、[ディスクメニュー]を押します。

  ▲/▼/◄/►ボタンで、メニュー項目を移動します。

- **ポップアップメニューを表示するには**

  一部のBD - ROMディスクには、再生中に表示されるポップアップメニューが含まれています。

  再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、▲/▼/◄/► ボタンで、メニュー項目を移動できます。

レジューム再生

BD DVD AVCHD MOVIE ACD MUSIC

本機でディスクを再生中、「停止」(■)ボタンを押して、その後、「再生」(►)ボタンを押します。

この動作により、本機が「停止した位置」を記憶しており、「停止」位置から再生が開始されます。

ヒント

- レジュームした位置は、⏻(電源)、⏏(開/閉) などのボタンを押すと解除される場合があります。
- BD-J(Blu-ray Disc Java)を使った BD ビデオ ディスクでは、レジューム再生機能は動作しません。
- BD-ROM のインタラクティブタイトルの再生中に 停止ボタン(■)を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。

ラストシーンメモリー

BD DVD

本機でディスクを再生中に、ディスクを取り出して、再度挿入します。

この動作により、本機がディスクを「取り出した」位置を記憶して、その位置から再生が開始されます。

※)注意

ただし、この時に別のディスクを挿入した場合、本機能は無効になります。

同じディスクであれば、取り出して挿入することで、取り出した位置からの再生が可能です。

ヒント

- この機能は、最後に再生したディスクのみのラストシーンを記憶します。別のディスクを再生すると、以前のディスクの記憶情報はリセットされます。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。
- BD-J(Blu-ray Disc Java)を使用したBD-Videoディスクでは、ラストシーンメモリー機能が作動しません。
- 動画や映画を再生する前に、本機の電源を切ると、記憶した位置情報はリセットされます。次回は、ディスクの最初から再生が開始されます。

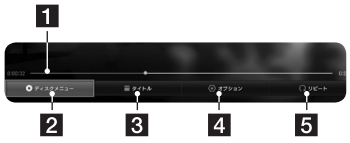
コンテンツ情報を確認する

コンテンツのあらゆる情報や設定を表示したり調整したりすることができます。

ビデオを再生する

BD DVD AVCHD MOVIE

ビデオを見ながら、再生と各種設定ができます。再生中にかんたんメニューボタン(□)を押します。



1 **プログレスバー** - 現在の再生位置と総再生時間が表示されます。

2 **[ディスクメニュー]** - ディスクメニューを開きます。

3 **[タイトル]** - ブルーレイディスクのポップアップメニューまたはDVDのタイトルメニューがディスクに収録されている場合は、表示できます。

4 **[オプション]** - 再生情報が表示されます。

5 **[リピート]** - 特定のシーンを繰り返し再生します。チャプター、タイトル、繰り返したい区間の設定ができます。(33ページ)

コンテンツ情報を画面に表示する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中にかんたんメニューボタン(□)を押します。
2. ◀/▶で[オプション]を選択し、決定(⊙)を押します。.



1 **タイトル** – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数

2 **チャプター** – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数

3 **時刻** – 再生経過時間/総再生時間

4 **オーディオ** – 選択されている音声言語や音声の出力チャンネル数

5 **字幕言語** – 選択されている字幕言語

6 **アングル** – 選択されているアングル数/総アングル数

7 **縦横比** – 選択されているテレビのアスペクト比

8 **ピクチャーモード** – 選択されている画像モード

ヒント

- ボタンを2、3 秒内に押して操作しないと、クイックメニューは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 選択できる項目はディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- インタラクティブ・ブルーレイディスクを再生する場合、設定情報がスクリーンに一部表示されますが、変更することは禁じられています。

フォトビューの制御

フルスクリーンで表示された画像ファイルのスライドショーのオン／オフや各種設定を行います。

画像の再生中に、かんたんメニューボタン(▢)を押します。



1 **[スライドショー]** - スライドショーのオン/オフをします。

2 **[音楽]** - スライドショーのBGMを選択します。

3 **[オプション]** - スライドショーの設定ができます。

4 **[回転]** - 写真を時計回りに回転します。

5 **[ズーム]** - [ズーム] メニューを表示します。

スライドショーのオプション設定

スライドショーの設定ができます。

1.写真を表示している状態で、かんたんメニューボタン(▢)を押します。

2. ◄/►を使って [オプション]を選択し、決定ボタン(◉)を押します。



1 **[スピード]** - ◄/►でスライドショーの写真の切り替え速度を設定します。

2 **[効果]** - ◄/►でスライドショーの写真の切り替わりの効果を設定します。

3 **[音楽を選択]** – スライドショーのBGMを選択します。

4 操作する

さまざまな再生

リピート再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MUSIC** **MOVIE**

◆ **ブルーレイディスク/DVDビデオ/動画ファイル**

再生中にリピート (🔁) を繰り返し押して、リピートモードを選択します。

A-B – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。
（ブルーレイディスク/DVDビデオのみ）

Chapter – 現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

Title – 現在再生中のタイトルが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

Off – リピートをオフにます。

◆ **オーディオ CD/音楽ファイル**

通常の再生に戻るには、リピート (h) を押して [オフ] を選択します。

🔁 – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。（オーディオCDのみ）

🔁**Track** – 現在再生中のトラックが繰り返し再生されます。

🔁**All** – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

🔁🔀**All** – すべてのトラックやファイルをランダム再生します。

🔀 – トラックやファイルをランダムに再生します。

ヒント

この機能はディスク、タイトル、ファイルタイプによっては作動しない場合があります。

区間指定のリピート

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MOVIE**

本機は指定した区間をリピート再生することができます。

1. 再生中に、リピート(🔁)を押します。
2. [A-B]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. リピートしたい部分の先頭で決定ボタン(⊙)を押します。
4. リピートしたい終点で決定ボタン(⊙)を押します。 選択された部分が連続再生されます。

ヒント

- 3秒以内の短い区間は指定できません。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

タイムサーチ再生

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 再生中に、 かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◀/▶で[オプション]を選択し、決定(⊙)を押します。
3. [時刻] 項目を選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。

   例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンをサーチする場合は、「21020」と入力します。

   ◀/▶を押すと、前後60秒の地点にスキップします。
4. 選択した時間から再生を開始するには 決定ボタン(⊙) を押します。

ヒント

ディスクまたはタイトルによっては、この機能が動作しない場合があります。

字幕言語を選択する

BD DVD AVCHD MOVIE

1.コンテンツの再生中に、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[字幕]にカーソルを移動します。
4. ◄/►で、コンテンツに収録された字幕を選択し、決定ボタン(⊙)を押すと、字幕が表示されます。
5. メニュー画面を終了するには、戻るボタン(⮌) を押します。

ヒント

コンテンツによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから音声を選んでください。

音声を切り換える

BD DVD AVCHD MOVIE

1. コンテンツの再生中、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[オーディオ]にカーソルを移動します。
4. ◄/►で、コンテンツに収録された音声を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
5. メニューを終了するには、戻るボタン(⮌)を押します。

ヒント

- コンテンツによっては、音声の選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから音声を選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的にずれが生じる場合があります。
- BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネルオーディオフォーマット(5.1CH または 7.1CH)は、[マルチCH] と表示されます。

別アングルの映像を見る

BD DVD

違うカメラアングルの映像がディスクに収録されている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1.再生中に、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[アングル]にカーソルを移動します。
4. ◄/► でアングルを選択します。
5. メニュー画面を終了するには、戻るボタン(⮌) を押します。

テレビのアスペクト比を変更する

BD AVCHD MOVIE

コンテンツの再生中にテレビのアスペクト比(画面の縦横比)を変更することができます。

1.再生中に、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。

2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[テレビのアスペクト比]にカーソルを移動します。
4. ◄/►でアスペクト比を選択します。
5. メニュー画面を終了するには、戻るボタン(⮌) を押します。

ヒント

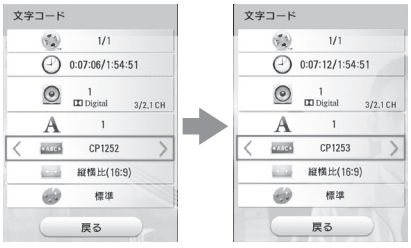
OSD かんたんメニューで[縦横比]の値を変更しても、[設定]メニューの[縦横比]項目の値は変わりません。

字幕コードページを選択する

MOVIE

字幕の文字が正しく表示されない場合は、次の手順で字幕コードページの設定を調整します。

1. コンテンツの再生中 に、 かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[文字コード]にカーソルを移動します。
4. ◄/►でコードを選択/設定します。



5. オンスクリーン表示を終了するには、戻る(⮌) を押します。

ピクチャーモードを変更する

BD DVD AVCHD MOVIE

コンテンツの再生中に[ピクチャーモード]項目を変更することができます。

1.再生中に、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。

2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[ピクチャーモード]にカーソルを移動します。
4. ◄/►で[ピクチャーモード]を選択します。
5. メニュー画面を終了するには、戻るボタン(⮌) を押します。

[ユーザー設定]を調整する

1. コンテンツの再生中に、かんたんメニューボタン(⊡)を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。
3. ▲/▼で[ピクチャーモード]にカーソルを移動します。
4. ◄/►で[ユーザー設定]を選択し、決定ボタン(⊙)を押します。



5. [ピクチャーモード]を調整するには▲/▼/◄/►を使用します。

   コントラスト(明暗)、輝度(明るさ)、カラー(色合い)、鮮明度(鮮明さ)をそれぞれ▲/▼でカーソルを合わせ◄/►で強弱を設定します。初期状態に戻すには[初期設定]を選択して、決定ボタン(⊙)を押します。

6. 設定が終了したら、▲/▼で[戻る]にカーソルを合わせて決定ボタン(⊙)を押します。

コンテンツ情報を見る

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. ▲/▼/◄/►でファイルを選択します。
2. かんたんメニューボタン(□)を押します。
   ファイル情報が画面に表示されます。

動画の再生中は、タイトル/ポップアップを押してファイル情報を表示することができます。

ヒント

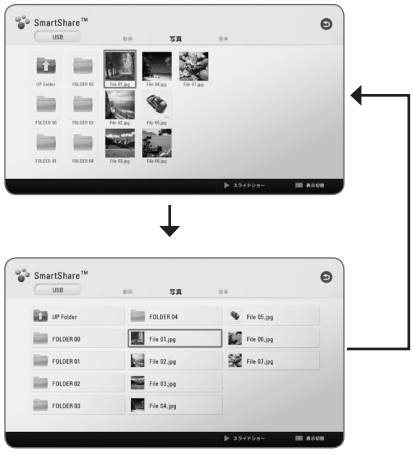
画面に表示されている情報は、実際のコンテンツ情報と完全に一致しない場合があります。

コンテンツリストの表示を変更する

MOVIE MUSIC PHOTO

[動画]、[写真]、[音楽] メニューのファイル表示を変更することができます。

赤色の(R)ボタンを押すと表示が切り替わります。



字幕ファイルを選択する

MOVIE

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、映画を再生する前に[動画]メニューから字幕ファイルを選択する必要があります。

1. [動画]メニューで▲/▼/◄/►を使用します。
2. 再生したい字幕ファイルを選択して決定ボタン(⦿)を押します。



字幕ファイルの選択を解除するには、再度決定ボタン(⦿) を押します。動画ファイルを再生する際に、選択した字幕ファイルが表示されます。

ヒント

再生中に 停止ボタン(■)を押すと、字幕の選択がキャンセルされます。

音楽を聴きながらスライドショーを楽しむ

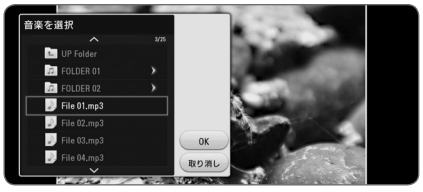
PHOTO

音楽ファイルを聴きながら、写真ファイルを再生することができます。

1. 音声ファイルの再生中に、かんたんメニューボタン(❑) を押します。
2. ◄/►で[オプション]を選択し、決定ボタン(⦿)を押します。
3. ▲/▼で[音楽を選択]を選択し、決定ボタン(⦿)で[音楽を選択]のメニューを表示します。
4. 接続機器を▲/▼で選択して決定ボタン(⦿)を押します。利用可能なデバイスは、現在の写真ファイルの位置によって異なる場合があります。

写真の位置	利用可能なデバイス
Disc, USB	Disc, USB
MTP	MTP

5. ▲/▼で再生したいファイルまたはフォルダを選びます。



上位フォルダーを表示させるには、❑マークを選択し、決定ボタン(⦿)を押します。

6. ► ボタンで [OK] を選択し、決定ボタン(⦿)で、ファイルを決定します。

BD-Live™ を楽しむ

BD

再生するブルーレイタイトルがBD-Live™に対応する場合は、本機をネットワークに接続することで、コンテンツ製作者が提供する追加のオンラインコンテンツをお楽しみいただけます。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。（14ページ）
2. 本機のUSB端子に、BD-Liveコンテンツをダウンロードするためのストレージデバイスを接続します。
3. ホーム (⌂)を押し、[設定]メニュー (19ページ)から[BD-LIVE接続]を設定します。

   [BD-LIVE接続] の項目が[一部許可]に設定されていると、ディスクによってはBD-Live機能が動作しない場合があります。
4. BD-Live 機能のある BD-ROM ディスクを挿入します。

   ディスクによって動作が異なる場合がありますので、ディスク側の取扱説明書なども合わせてご参照ください。

ヒント

コンテンツをダウンロードしている最中やディスクトレイにブルーレイディスクが入っている場合は、接続されたUSB機器を取り外さないでください。USB機器のダウンロードが正常に完了されず、USBに保存されていたデータやダウンロードしたBD-Liveコンテンツが正常に再生できなくなる場合があります。

注意

- BD-Live™コンテンツの中には、お住まいの国や地域によりご利用いただけないものもあります。これは、コンテンツ製作者により指定されているものです。
- BD-Live™コンテンツの読み込みには、時間がかかる場合があります。
- BD-Live™コンテンツをダウンロードするためのUSBデバイスは、FAT32形式で初期化されたものをご利用ください。

オーディオCDの録音

オーディオCD から希望するトラックをUSB機器に録音することができます。

1. USB 機器を本機前面にあるUSB 端子に差し込みます。
2. プレイヤーにオーディオCDを挿入します。自動的に再生が始まります。
3. 赤色の(R)ボタンを押して[CDレコーディング]を開始します。

停止モード	停止モード	再生中
録音トラック	全てのトラック	トラックの再生
録音時間	4倍速	1倍速

ヒント

- 音声CDの録音については、FAT32形式用にフォーマットされたUSB フラッシュドライブ/外付けHDDのみを使用します。
- 音声トラックは、192kbpsのMP3形式で録音されます。
- 上記の録音時間は概算の時間です。
- 録音可能時間はUSB機器の空き容量によって異なります。
- USB機器に録音する場合は、最低50 MB の空き容量があることをご確認ください。
- 正常に録音するには、録音する時間が1ファイルにつき20秒以上である必要があります。
- 録音中は、本機の電源を切ったり、接続されているUSB機器を抜かないでください。
- オーディオCDを録音しているときは、MUSIC flowを使用できません。

注意

本機の録音またはコピー機能は、個人および非営利目的のために提供されています。著作権で保護されているコンテンツを許可なく複製して配布、配信、販売することは、著作権の侵害や不法行為に当たる場合があります。本機をそれらの目的で使用することは固く禁じられています。当社は、違法配信または営利目的でのコンテンツの不正使用について、一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

プレミアムコンテンツを利用する

本機をネットワークに接続することで、ビデオオンデマンド（VOD）などのさまざまなプレミアムコンテンツをご利用いただけます。

1. 本機をネットワークに接続します。（14ページ）
2. ホーム (⌂) を押します。
3. ◀/▶を使用して[プレミアム]を選択し、決定(◉)を押します。



4. ▲/▼/◀/▶を使用してオンラインサービスを選択し、決定(◉)を押します。

ヒント

- サービス内容は、ソフトウェアアップデートで変更される場合があります。
- インターネットのサービスによっては、利用登録が必要なサービスがあります。
- 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- プレミアムコンテンツを初めて使用するときは、現在設定された地域が画面に表示されます。
- 地域を選択したい場合は、[設定]>[ネットワーク]>[Smart Service 設定]>[国の設定]から[マニュアル]を選択し、決定(◉)ボタンを押してください。

LG Music Flowと接続する

本製品は、LG MUSIC flowシリーズと接続が可能です。本製品で再生される音声を無線スピーカーを通じて高音質で楽しむことができます。

1. ネットワークが適切に接続されているか確認してください。 (14ページ)
2. オーディオコンテンツの再生中に緑色ボタン(緑)を押します。外部スピーカー選択メニューが表示されるので、▲/▼ボタンで使用したい外部スピーカーを選択し、決定(⦿)ボタンを押してください。
3. 複数のスピーカーを同時に使用することも可能です。外部スピーカー選択を変更したいときは、選択されたスピーカーの位置で►ボタンを押して▲/▼ボタンでスピーカーを選択し、決定(⦿)ボタンを押します。



[Blu-ray Disc™ プレイヤーの音を消してください。]という確認画面が表示されたら[OK]を選択すれば、音声はMUSIC flowからのみ出力されます。

3. 外部スピーカー設定を終了するには、[OK]を選択してください。

ヒント

- 本機能を利用するにはMUSIC flowシリーズが同じネットワーク上に接続されている必要があります。
- より臨場感のある音声出力のため、最大4台の外部スピーカーを使うことができます。
- 電波干渉が発生する場合は再生が中断することがあります。
- 円滑に再生しない場合は、本製品とスピーカーの接続を切断することができます。
- MUSIC flowが外部スピーカーリストに表示されない場合は、ネットワークを再設定してください。
- 本機能を使用してオーディオコンテンツを再生中に、戻る(⮌)ボタンを押すと、MUSIC flowの再生を中止します。

故障かな？と思ったら

一般

このようなときは	ここをお調べください
正常に動作しない。	• 本機および接続されている各機器（テレビ、ウーファー、DVDプレーヤー、アンプなど）の電源を一度オフにして、再度電源をオンにしてください。 • 本機および接続されている各機器（テレビ、ウーファー、DVDプレーヤー、アンプなど）の接続を一度外して、再度接続し直してください。
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかをご確認ください。 • ACアダプターがコンセントおよび本機にしっかり接続されているかをご確認ください。
ディスクの再生ができない。	• ディスクの種類、放送方式、リージョンコードを確認し、本機で再生可能なディスクであることをご確認ください。 • ディスクの再生面を下にして、ディスクトレイにきちんと置かれていることをご確認ください。 • ディスクに傷や汚れ、ほこりの付着がないかを確認してください。状態の悪いディスクを使用すると正常にデータが読み取れず、再生できないことがあります。 • 視聴制限機能を解除するか、視聴制限のレベルを変更してください。
接続したUSB機器が認識されない。	• USB機器の接続状態をご確認ください。 • 別のUSBケーブルでお試しください。 • USB延長ケーブル、またはUSB ハブなどを使用している場合、USB機器が正常に認識されない場合があります。 • USB機器を使用するために専用プログラム(デバイスドライバー)などのインストールが必要なUSB機器はご利用いただけません。 • 本機は、FAT32またはNTF形式でフォーマットされたUSB機器以外は対応していません。
アングルを変更できない。	• アングルが収録されていないファイルでは、アングルの切り換え機能をご利用いただけません。
音楽/写真/動画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できる形式のファイルであることをご確認ください。 • 本機が対応しているファイルコーデックであることをご確認ください。
リモコンが正常に動作しない。	• リモコンがリモコン受光部に向けられていることをご確認ください。 • 本機とリモコンの距離が離れていると、リモコンが動作しない場合があります。 • 本機とリモコンの間にものを置いたりしないでください。 • リモコンの電池を入れ替えてください。

ACアダプターが接続されているのに電源が入らない。	• 電源コードをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから再度接続してください。
本機が正常に動作しない。	

ネットワーク

このようなときは	ここをお調べください
BD-Live 機能が動作しない。	• BD-Liveコンテンツをダウンロードするための USB機器の空き容量が不足している場合があります。1GB以上の空き容量があることをご確認ください。 • 本機がネットワークに接続されていることをご確認ください。(14 ページ) • BD-Live 機能を利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。 • [設定] メニューの [BD-LIVE接続] の項目が [禁止] に設定されている場合は、[許可] に設定してください。
YouTube™ などのビデオストリームサービスの再生が途切れたり、停止することが多い。	• ビデオストリームサービスを利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問い合わせください。
メディア サーバーが、デバイスリストに表示されない。	• メディア サーバー側にファイアウォールやウィルス対策ソフトウェアが実行されていないかご確認ください。
アクセスポイントまたは無線LANルーターに接続できない。	• 無線通信は、無線周波数を使用している家電製品などから干渉を受けることがあります。アクセスポイントやルーターの場所を移動してお試しください。
アクセスポイントが、「アクセスポイント名」のリストに表示されない。	• アクセスポイントまたは無線LANルーターから、SSIDが送信 (ブロードキャスト) されていない場合があります。お使いのアクセスポイントまたは無線LANルーター側の設定をご確認ください。 • アクセスポイントまたは無線LANルーターなどで利用できる周波数の範囲が、本機の周波数と一致しない場合があります。アクセスポイント側の設定をご確認ください。

画像

このようなときは	ここをお調べください
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • テレビと本機とのケーブルの接続状態をご確認ください。 • 設定メニューのHDMIカラー設定が正しく設定されているかご確認ください。 • 本機で設定している解像度に、テレビが対応していない場合、画像が映らないことがあります。双方の機器が対応している解像度にそれぞれ変更してください。 • 本機のHDMI出力端子に接続された機器またはコンテンツが著作権保護に対応していることをご確認ください。
画像にノイズが現れる。	• 本機と接続されているテレビと異なるカラーシステムのディスクを再生した場合、画面にノイズが現れることがあります。 • 本機および接続されたテレビ側の解像度の設定をご確認ください。双方の機器が対応している解像度にそれぞれ変更してください。 • ディスクに傷や汚れ、ほこりの付着がないかを確認してください。状態の悪いディスクを使用すると正常にデータが読み取れず、再生できないことがあります。

ソフトウェアのアップデートについて

製品の動作機能の向上させたり、新しい機能の追加、新しいAACSのプロテクションに対応するために、本機のソフトウェアを最新バージョンに更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには（更新がある場合）、当社ホームページ（http://www.lg.com/jp）をご参照いただくか、または当社カスタマーセンターにご相談ください。

オープンソースソフトウェア通知情報

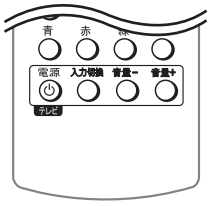
本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、http://opensource.lge.comをご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

本製品をお買い求めてから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール(opensource@lge.com)にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

付属のリモコンでテレビを操作する

以下のボタンで、本機と接続されているテレビを操作してください。



ボタン	操作
⏻ (電源)	テレビの電源をオン/オフします。
入力切換	テレビとテレビに接続されている機器との入力を切り換えます。
音量 +/–	テレビの音量を調節します。

ヒント

接続されている機器によっては、ご利用のテレビを操作できないボタンもあります。

リモコンにお使いのテレビを設定する

付属のリモコンで、本機と接続されているテレビを操作することができます。以下のリストにお使いのテレビがある場合、メーカーコードを確認し、本機のリモコンに設定してください。

1. リモコン左下にある ⏻ 電源(テレビ) ボタンを押したままの状態で、下記のお使いのテレビと同じコードを数字ボタンで入力します。

製造メーカー	コード番号
LG	1(初期設定)
シャープ	2, 3
東芝	4
パナソニック	5, 6
ソニー	7
日立	8
三菱	9

2. ⏻ (テレビ 電源) ボタンから手を放すと設定が完了します。

正しいメーカーコードを入力しても、お使いのテレビの機種よっては、使用できないことや一部のボタンが使用できないことがあります。なお、リモコンの電池を交換した際に、メーカーコードの設定が初期化されることがあります。その場合は、お手数ですが、もう一度メーカーコードを設定してください。

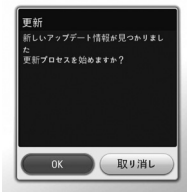
ネットワークソフトウェアの更新

更新の通知

本機をネットワークに接続すると、ソフトウェアのアップデートをかんたんに行うことができます。更新できるソフトウェアがあった場合、本機は次のように更新を通知します。

オプション 1:

1. 本機の電源を入れると、画面に更新メニューが表示されます。
2. 更新を行う場合は、[OK]を選択します。



[OK]	ソフトウェアの更新を開始します。
[取り消し]	更新メニューを終了し、[ホーム]メニューが表示されます。

オプション 2:

更新可能な新しいソフトウェアが見つかった場合、「ソフトウェアの更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。
リモコンの青ボタンを押して更新を開始します。

ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することがでます。本機をソフトウェア更新サーバーに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

ヒント

- ソフトウェアを更新する前に、本機に接続されたUSB機器やディスクなどは取り外してください。
- ソフトウェアを更新する前に、本機の電源を入れ直してください。
- **ソフトウェアの更新中に、プレーヤーの電源を切ったり、電源ケーブルを抜いたり、リモコンや本体のボタンを押したりしないでください。**
- 更新をキャンセルする場合は、そのまま本機の電源を入れ直してください。
- 以前のバージョンのソフトウェアに戻すことはできません。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(14ページ参照)
2. [設定] メニューから [ソフトウェア] 項目を選択し、決定(⦿) を押します。
3. [更新] 項目を選択して、決定(⦿) を押します。



本機が最新の更新状態であるか確認します。

ヒント

更新可能な新しいソフトウェアが存在しない場合、「更新が検出されません。」とメッセージが表示されます。ホームメニューに戻るには、決定(⦿) を押します。

4. 新しいバージョンがある場合は、「新しいアップデート情報が見つかりました。ソフトウェアの更新は数分かかります。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。

5. [OK] を選択して更新ファイルをダウンロードします。([取り消し] を選択すると更新が終了します)

6. 本機は、サーバーから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します。
(ホームネットワークの状態によってはダウンロードに数分かかります。)

7. 次回にソフトウェアを更新する場合は、ソフトウェアの更新手順を初めから再度行ってください。

注意

ソフトウェアの更新中に本機の電源を切らないでください。

ヒント

更新中のソフトウェアに、ディスクドライバーのアップデートが含まれている場合は、ディスクトレイが自動で開くことがあります。

8. アップデート完了後、電源は数秒後に自動的にオフになります。

9. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。

ヒント

ネットワークの状態などにより、ソフトウェアの更新が正常に行えない場合があります。このような場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。(巻末)

追加情報

ファイルの要件

動画ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	Codec形式	Audio 形式	字幕
ディスク、USB	「.avi」, 「.mpg」, 「.mpeg」, 「.mkv」, 「.mp4」, 「.asf」, 「.wmv」, 「.m4v」(DRM フリー), 「.vob」, 「.3gp」, 「.flv」, 「.mov」, 「.ts」, 「.trp」, 「.m2t」, 「.mpe」, 「.m1v」, 「.m2v」, 「.dat」, 「.wm」	XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, WMA,AC3,AAC	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), VobSub (.sub), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)

音楽ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	サンプリング周波数	ビットレート	ヒント
ディスク、USB	「mp3」, 「.wma」, 「.wav」, 「.flac」, 「.m4a」(DRM free), 「.ogg」, 「.aiff」	32 - 48 kHz (WMA) の範囲内, 16 - 48 kHz (MP3) の範囲内	32 - 192 kbps (WMA)の範囲内, 32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。

写真ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	推奨サイズ	ヒント
ディスク、USB	「.jpg」, 「.jpeg」, 「.png」, 「.gif」	4000 x 3000 ピクセル/24 ビット未満、 3000 x 3000 ピクセル/32 ビット未満	プログレッシブと可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。

動画/音声ファイルの再生について

- ファイル名は180文字以内に制限されています。
- 認識できるファイルとフォルダーの合計数は2000個以内です。
- メディアを読み込む際には、記録されたファイルの数やサイズ(容量)に応じて時間がかかる場合があります。
- 本書に記載されたファイル仕様は、すべての使用環境において互換性を保証するものではありません。メディアやファイルの仕様などによっては、正常に動作しない場合があります。
- PCなどに接続したUSB機器やディスクのファイルは、ホームネットワーク上で正常に再生されない場合があります。
- VBR方式で作成された音楽ファイルは、合計再生時間が正しく表示されないことがあります。
- CD / DVDまたはUSB1.1で記録されたHD動画ファイルは、転送レートによって正しく再生できないことがあります。HD動画ファイルを再生する際には、ブルーレイディスクまたはUSB 2.0以上の記録メディアのご利用をおすすめします。
- 本機はレベル4.1で、H.264/MPEG-4 AVCのプロファイルに対応しています。さらに高いレベルに合わせて作成されたファイルを再生する場合は、画面上にその旨を通知するメッセージが表示されます。
- 本機は、GMC[*1]またはQPEL[*2]で記録されているファイルには対応していません。

  * 1 GMC - グローバル動き補償

  * 2 QPEL - クォーターピクセル
- 「WMV 9コーデック」でエンコードされた「AVI」ファイルは対応していません。
- Unicode字幕の場合、本機はUTF-8形式を認識します。純粋なUnicode字幕ファイルには対応していません。
- ファイルの種類や記録の方法に応じて、再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクの再生には対応していません。
- 動画ファイルを自動で再生するためには、動画ファイルの名前と字幕ファイルの名前が同じでなければなりません。ファイル名が異なる場合は、設定が必要になります。(37ページ)
- ビデオコーデックがMPEG2のTSまたはMPEG2 PSである場合、字幕は再生されません。
- 「.ts」、「.m2ts」、「.mts」、「.tp」、「.Trp」、「.m2t」などの拡張動画ファイルを再生する時、プレイヤーが字幕ファイルをサポートしていない場合があります。
- ビデオのオーディオコーデックの互換性はビデオファイルの種類によって異なることがあります。

ご注意

- ブルーレイディスクは、特定のフォーマット形式、デジタル接続及びその他機能によって互換性の問題が発生する可能性があります。もし互換性の問題が発生した場合は、LGカスタマーセンターにお問い合わせください。
- 本機は、ピクチャーインピクチャー(PIP)、セカンダリーオーディオおよび仮想パッケージなどのようなBD-ROMがサポートしているBONUSVIEW(BD-ROMのバージョン2プロファイル1バー ジョン1.1)を楽しむことができます。セカンダリービデオとオーディオは、PIP機能に対応し、ディスクから再生することができます。再生方法については、ディスク側の取扱説明書などをご参照ください。
- DVDビデオは本機のアップコンバート(アップスケーリング)機能によって高精細で楽しむことができます。
- BD-ROMやDVDディスクの仕様によっては、機能や操作の一部をご利用いただけない場合があります。
- HDMI接続での音声出力は、DolbyTrueHD、Dolby Digital PlusやDTS-HDの場合、最大7.1チャンネルまで対応します。
- ブルーレイディスクのオンラインコンテンツをネットワーク経由でダウンロードしたときは、USB記憶装置に保存して追加機能や最新情報を利用することができます。

AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクの再生に対応しています。AVCHDは、主にビデオカメラの録画などで使用されています。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用しているAVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要があります。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

必要なシステム環境

高精細映像を再生するには：

- HDMI 入力を装備した高解像度モニターで使用してください。
- 高精細な映像を楽しむ場合は、ブルーレイディスクの映像をお勧めします。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP対応 DVI 入力端子に対応したディスプレイ機器が必要な場合があります（これらは、ディスクの作成者によりあらかじめ指定されています）。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- アンプやレシーバーに、デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD) が搭載されている必要があります。
- 選択したオーディオフォーマットに対応するメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

オーディオ出力の仕様

端子と設定 / 種類	HDMI OUT		
	PCM	DTS 再エンコード *3	ビットストリーム *1 *2
Dolby Digital	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

*1 [デジタル出力]が [自動]以外の設定になっている場合、副音声や対話の音声が出力できないことがあります。
（LPCMコーデックは、常に副音声と対話の音声が含まれています。）

*2 [デジタル出力]が[自動]以外に設定されていても、接続されているHDMIデバイスのデコード能力に応じて本機は自動的にHDMIオーディオを選択します。

*3 [HDMI] または [デジタル出力]が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz と5.1 Ch に制限されます。また、[HDMI] または [デジタル出力]が[DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはBD-ROM ディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[ビットストリーム]など)に出力されます。

- オーディオCDの再生は、MP3/WMAファイルのPCM48 kHz/16ビットPCMと44.1kHz/16ビットとして出力されます。
- アンプ（またはAVレシーバー）は[設定]メニューで[デジタル出力]と[サンプリング周波数]で、アンプ側が受信するデジタル･オーディオ出力および最大サンプリング周波数を選択する必要があります。（22ページ）
- [デジタル出力]が[自動]以外に設定されている場合、BD-ROMのディスクのメニューボタンの音を聞くことはできません。
- デジタル出力のオーディオ形式が、受信機の性能と一致しない場合は、受信機はノイズ音を再生するか音声が出力されません。
- デジタルマルチチャンネルデコーダが装備されている場合のみ、デジタル接続を介して、マルチチャネルデジタルサラウンドサウンドを再生することができます。

エリアコード一覧

以下のリストからエリアコードを選択してください。

エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	アメリカ合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア 連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

以下のリストからご希望の言語コードを確認し、初期設定に入力してください。
[ディスク音]、[ディスク字幕言語]、[ディスクメニュー言語]

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリ語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	イツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	ペルシャ語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トウィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラビュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー語	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

商標およびライセンス

下記に記載のない全ての商標はそれぞれの企業の登録商標または商標です。

Blu-ray Disc™, Blu-ray™, BD-Live™, BONUSVIEW™ およびこれらのロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。

JavaはOracleおよび/またはその関連会社の商標です。

HDMIとHDMI高解像度マルチメディアインターフェース、そしてHDMIロゴは米国やその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

x.v.Colorはソニー株式会社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS 特許については http://patents.dts.com をご参照ください。本製品はDTSの著作権の制限を受けているライセンスで製造されています。DTS、シンボル、そして DTSとシンボルの同時使用は登録されている商標であり、DTS 2.0+Digital OutはDTS, Inc. © DTS, Inc. に全ての権利が属されている商標です。

「AVCHD」および「 AVCHD」ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

Wi-Fi Protected Setupのマークは、Wi-Fi Allianceの商標です。

Cinavia からのお知らせ

この製品はCinavia技術を利用して、商用製作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center. P.O.Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporationのライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国第7369677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2013 Verence Corporation.すべての権利はVeranceが保有しています。

仕様

一般	
AC アダプター	• 型番: WA-12M12FU • 製造者:Asian Power Devices Inc. • 入力:100-120 V〜、最大 50-60 Hz 0.5 A • 出力:12 V ⎓ 1 A
ネットワーク待機時の消費電力	2.5 W(全てのネットワークポートがアクティブである場合。)
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 270 mm x 43 mm x 195 mm
本体質量	約 0.85 kg
許容周囲温度	5 °C - 35 °C
許容相対湿度	5 % - 90 %

出力	
HDMI 出力 (映像/音声)	19ピン(タイプA、HDMI™ Connector)

システム	
レーザー	半導体レーザー
波長	405 nm / 650 nm
信号システム	標準 NTSC カラーテレビシステム
無線 LAN (内蔵アンテナ)	Integrated IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHz 帯) 無線ネットワーク接続
バス電源(USB)	5 V ⎓ 500 mA

• 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

お手入れについて

使用上のご注意

機器を輸送するとき

製品の外箱と梱包材は輸送するときに必要となりますので、保管してください。輸送時は、本機の損傷を防ぐため、開梱時の状態で梱包してください。

機器のお手入れ

本機のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。汚れが目立つときは、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

外部表面をクリーンな状態に保つ には

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のメンテナンス

光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質や再生の精度が低下する可能性があります。詳細についてはカスタマーセンターにご相談ください。

ディスクについてのご注意

ディスクのお取り扱い

- ディスクの再生面は手で触れず、指紋がつかないように、ディスクの中心部の穴や両端を持ってください。
- ディスクには紙やテープなどを絶対に貼らないでください。
- ディスクのご使用後はケースに入れて保管してください。
- ディスクを直射日光に当たる所や温度、湿度が高い所には置かないでください
- ディスクは温度が上昇する車内などに放置ないでください。

ディスクのお手入れ

傷や指紋、ほこり等のディスクの汚れは、画質の乱れや音質の低下の原因になります。汚れがついたディスクは再生する前に、乾いた柔らかい布でディスクの中央から外側に向かって拭いてください。

ディスクのお手入れはアルコール、ベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

ネットワーク サービスに関する重要な情報

第三者によって、または第三者を通じて（それぞれ以下「サービス プロバイダ」といいます）提供されるか、または利用可能となる、すべての情報、データ、ドキュメント、通信、ダウンロード、ファイル、テキスト、画像、写真、グラフィックス、ビデオ、ウェブキャスト、出版物、ツール、リソース、ソフトウェア、コード、プログラム、アプレット、ウィジェット、アプリケーション、プロダクト、その他のコンテンツ（以下「コンテンツ」といいます）、およびすべてのサービスと提供物（以下「サービス」といいます）に関する責任は、それを提供するサービス プロバイダ側にあります。

本機を通じてサービス プロバイダが提供するコンテンツおよびサービスの利用可能性およびアクセス手段は、事前の通知なく変更される場合があります。これには、コンテンツまたはサービスの全部または一部の一時中断、削除または停止が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

コンテンツまたはサービスに関するすべての質問または問題については、サービス プロバイダのWebサイトで最新の情報を参照するものとします。当社は、コンテンツまたはサービスに関するお客様サービスの責任または法的義務を一切負いません。コンテンツまたはサービスに関するいかなる質問または要望も、それぞれのコンテンツおよびサービス プロバイダに直接連絡する必要があります。

当社は、サービス プロバイダが提供するいかなるコンテンツまたはサービスにも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスのいかなる変更、削除、停止にも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスの利用可能性またはアクセス方法を保証または確約しないことにご 注意ください。





LG
Life's Good

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan(株) カスタマーセンター

固定電話から  **0120-813-023**

携帯電話・PHS から  **0570-200-980** (有料)

IP 電話などからフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用いただけない場合は TEL:03-5675-7323 までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内での当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 ： 9:00 ～ 18:00 (年末年始など当社指定日を除く)

修理に関するご案内

ご使用中、不具合や異常が生じた際は、本説明書に沿ってご確認いただき、なお異常のあるときは、電源をオフにして、コンセントを抜いてから当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

■ 保証期間中

保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時

修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、モデル名、製造番号
- お買い上げ日、ご購入店名
- 故障の状況 (できるだけ具体的に)

■ 保証書 (別添) について

ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。保証期間は保証書に記載されています。

■ 部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年間です。修理のために交換、取り外した部品は当社で引き取らせていただきます。また、修理の際に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■ ご注意

保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は、無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外 (たとえば業務用) で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の [無料修理規定] をご確認ください。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作によりけがをすることがあります。(故障時は有料になります。)

LG Electronics Japan 株式会社
〒104-8301　東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 15 階